

# 新人教育プログラム

当院では、新人薬剤師が安全で質の高い医療を提供できるよう、基礎から実践まで段階的に学べる新人教育プログラムを整備しています。

## 【プログラム概要】

- 院内全体の入職時研修（入職初日）
- 薬剤部内オリエンテーション（入職 2 日目）
  - ・病院概要・薬剤部概要説明（薬剤部長）  
病院および薬剤部の役割、組織体制、運営方針の共有
  - ・部内ルール、内規説明（薬剤副部長）  
勤怠、服装など基本ルールの確認
  - ・各グループ概略説明（各グループリーダー）  
調剤、注射、病棟、DI、チーム医療、化学療法センター等の業務内容や連携体制の紹介
- 調剤室、注射供給室および化学療法センターでの業務研修（4～6 月）
  - ・各部門では、業務指導責任者を中心に担当者全員で丁寧な指導を行っています
  - ・業務習得の到達度については、第 1 クール、第 2 クールとともに、業務チェックリストやマニュアルを用いた振り返りと到達度評価を実施しています
  - ・到達度に応じて追加指導を行い、確実に技能が身につくようサポートしています
- 各部署（各係担当）への配属（7 月～）
  - ・1 ヶ月間ローテーションで各係を担当し、調剤・医薬品管理業務を身に付けます。  
(錠剤係・外用係・散剤係・一包化調剤係・窓口係・監査係・注射/化学療法センター係)
- 夜勤業務（8 月以降）
  - ・当院の夜勤は 1 人体制ですが、初回は先輩薬剤師が夜勤に同行し、安全かつ円滑に夜勤業務へ移行できるように支援しています
  - ・初回夜勤前に夜勤業務マニュアルやチェックリストを用いた事前研修を実施し、安全かつ円滑に夜勤業務へ移行できるように支援しています
- 新人勉強会（全 22 回）
- 親子制度（メンター制度）
  - ・新入職員 1 名に対し先輩薬剤師が 1 名担当となり、サポートを行っています

## ●新人教育プログラム概要

4月	初日	入職時研修（院内全体）	親子制度（メンターチャー制度）	新人勉強会（全22回）	
	2日目	薬剤部内オリエンテーション			
4-6月	業務研修 第1クール	研修①（調剤室・注射室/化学療法センター） ※終了時に到達度評価			
6-7月	業務研修 第2クール	研修②（調剤室・注射室/化学療法センター） ※終了時に到達度評価			
7月-2月	部署配属 ローテーション (1ヶ月×8)	調剤室・注射室/化学療法センター (1ヶ月ローテーション)			
2月以降	病棟研修	病棟研修プログラム			

※日程は年度毎に変更する場合があります

研修や1ヶ月ローテーションを通じて調剤業務の基本を修得するとともに、夜勤・日直業務に必要なスキルを身に付けます。

## ●調剤・注射・化学療法センター新人研修スケジュール（例）

		第1週目	第2週目	第3週目	第4週目	第5週目	第6週目	第7週目	第8週目	第9週目
調剤室	錠剤	→								
	外用		→							
	散剤			→						
	一包化調剤				→					
	窓口・漢方					→				
	監査・定期処方調剤						→			
注射室/ 化学療法 センター	注射/供給/院内製剤 化療療法							→		

※1クール目：調剤室各係5日毎、注射室3週間の計9週間で研修を実施

※2クール目：調剤室各係2日毎、注射室1週間で研修を実施

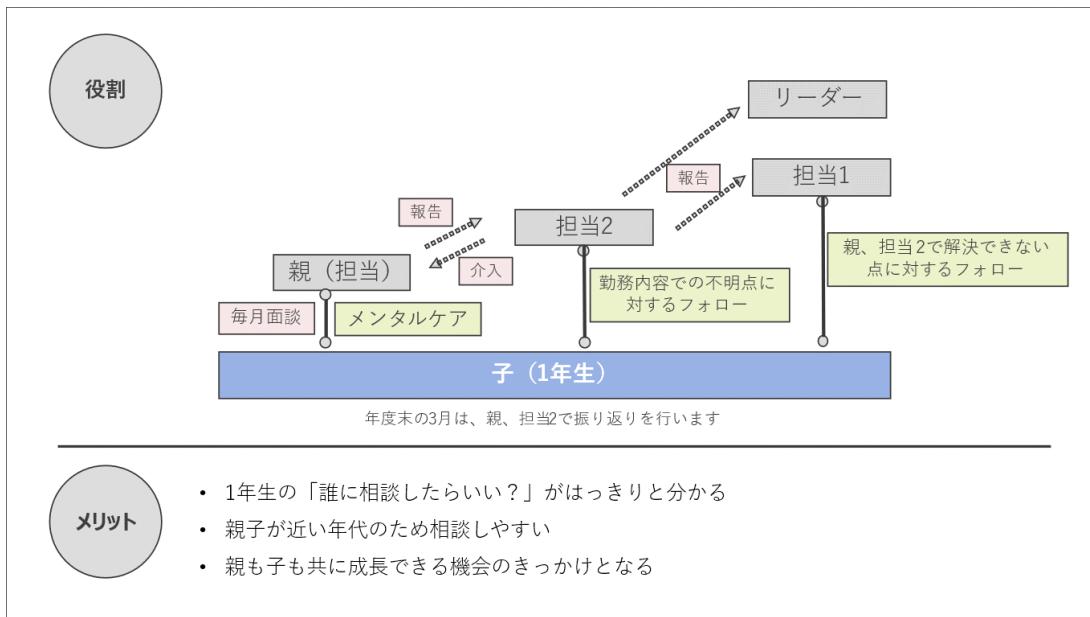
※錠剤係から開始する例となります

## ●新人勉強会スケジュール（全 22 回）

実施	日付	目的	内容
1回	4月	調剤業務と外来服薬指導の基礎	点眼薬について（指導の実践）
2回	5月		吸入薬について（指導の実践）
3回	6月		小児用量・小児吸入薬指導について
4回			薬物治療における腎機能評価
5回	7月		薬物間相互作用(Piscsを用いた相互作用の考え方)
6回			女性ホルモン薬について（指導の実践）
7回	8月		B型肝炎・C型肝炎薬について（指導の実践）
8回			訪問薬剤について
9回	9月		
10回		病棟業務・専門性の向上	病棟業務の基礎知識
11回	10月		化学療法基礎
12回			血糖降下薬について（インスリンの取扱を中心に）
13回	11月		薬物アレルギーについて（NSAIDs、抗菌薬を中心に）
14回			周術期の投薬について（休止薬の知識等）
15回	12月		医療用麻薬の基礎
16回			妊婦授乳婦の薬物治療
17回	1月		睡眠剤について（せん妄対策を含めて）
18回			輸液の基礎
19回	2月		外用薬について（褥瘡薬を中心に）
20回			薬物動態について（実践的な理解）
21回	3月		TDM（抗菌薬でのシミュレーションの実践）
22回			感染症治療の基礎
			文献の検索方法について

当院では、段階的な教育のため定期的に勉強会を開催しています。前期は、内服調剤・注射調剤の基礎技術の習得にあわせて、外来患者への服薬指導を中心としたレクチャーを行います。後期からは病棟業務や専門的な薬物療法などの講義でスキルアップを図ります。講師は各業務の担当者や、専門分野に精通した薬剤師が務め、実務に直結した実践的な内容を分かりやすく解説します。

## ●親子制度（メンター制度）について



新人薬剤師 1 名に対し先輩薬剤師が 1 名担当します。

主に日々の業務で生じる不安や悩み、職場環境に関する相談など、精神的なサポートを中心に、メンターが身近な相談役として寄り添います。

また、メンターで対応が難しい場合には、リーダー（管理職）が連携してサポートに入る体制を整えています。そのため、メンターと新人の関係に限定されず、部署全体で新人を支える支援体制となっています。

※必要に応じてリーダー（管理職）への報告を行います。